



馬の学校通信

2020.12 vol.80

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市天白区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX : 052-805-2920

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : <http://www.horseschool.org>



ミルクィが谷口牧場（山梨県清里）に引っ越しました！

今回はエッセイをお休みして、ミルクィ引っ越しのご報告をいたします。



2010年に馬の学校の仲間入りをしたミルクィ、ずっと小須田牧場でお世話になり、「ウマキャンプ」や「ミルクィと友だちになろう」のプログラムで活躍してくれていました。「ミルクィと友だちになろう」のプログラムは、2015年から始め、ペンションHimawariとのコラボ企画にもなり、これまでこのべ120名以上の参加がありました。しかし、4月に小須田牧場のオーナーが亡くなり、新型コロナの影響もあり、小須田牧場での乗馬が休業となりました。その結果、小須田牧場のプログラムができなくなりました。

ミルクィは21歳、人間で言えば60代です。まだまだ元気ですし、これからも一緒に活動がしたいと思っていたところ、いつもプログラムでお世話になっているペンションHimawariの河野さんのご縁で、養蜂家であり環境活動家の船橋さんとの出逢いがあり、船橋さんと河野さんにご協力いただきながら引っ越し先を探ることになりました。有難いご縁と奇跡的なタイミングで、谷口牧場への引っ越しが決まり、11月23日に引っ越しを終えました。ただ、預託専門牧場のために預託料等がかかるため、「ミルクィフレンズ（応援団）」を募り、月々の預託料の一部（一口5000円/月）をご支援いただく代わりに、ブラシがけやお散歩などでプログラム以外でもかかわることのできる時間を作り、ミルクィと仲良くなってもらいたいと考えています。そして、その体制が整うまでの費用を、クラウドファンディングで募ることにしました。（詳細は裏面をご覧ください）また、「ミルクィと友だちになろう」は、引き続き春休みや夏休みに行っていく予定です。

小須田牧場のみなさん、長い間ありがとうございました。これからはミルクィがつないでくれたご縁を生かし、ミルクィと共に、新しいことに挑戦していきたいと思います。

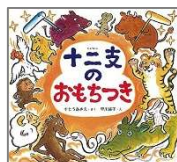


おすすめの本

『十二支のおもちつき』 童心社

すとうあさえ・さく、早川純子・え

馬が主人公ではありませんが、十二支として登場します。十二支の始まりのお話ではなく、おじいさんとおばあさんのお餅つきのお手伝いをする十二支の、心温まるお話です。十二支がお餅をつくるとどんどん増えていき、おじいさんとおばあさんは村の人たちにも分けてあげます。十二支がちょっとコミカルに描かれていて、娘と一緒に何回も読みました。お正月にピッタリの絵本です。



馬のおもちゃ

『煙り出しハウス』

この時期は、クリスマスグッズの紹介です。「煙り出し人形」はドイツの木のおもちゃとしてよく見かけますが、「煙り出しハウス」は珍しいかもしれません。とんがり屋根のお家の中でお香をたくと、煙突から煙が出てくる仕掛けです。ドイツでクリスマスマーケットに行ったとき、クリスマス仕様で馬もいたので、思わず買ってしまいました。細かいところまで丁寧に作られており、色使いもかわいらしく、毎年楽しんでいます。





活動報告

馬とのふれあいプログラム in 愛知県森林公園

4名の参加で、経験者はさらなる成長が見られ、初心者は馬との距離がぐんと縮まりました。



馬とのふれあいプログラム in 愛知牧場

5歳から大人まで、幅広い年齢の参加があり、五感を通じたかかわりを楽しみました。



馬の学校オリジナルグッズの「うまやさん」OPEN!

オリジナルグッズ作成サイト「SUZURI」内に、馬の学校オリジナルグッズのお店「うまやさん」がOPENしました。20周年記念デザインとミルクキーデザインのTシャツやトレーナー、パーカー、サコッシュなどがあります。1点から、お好きな時に、色やサイズを選べる購入が可能です。売上金はミルクキーのために使われますので、こちらでのご支援もよろしくお願いいたします。「うまやさん」はこちらから↓



編集後記

今年は予想もしなかったことが次々と起こり、馬の学校としてもどかしさを感じる事が多くありました。それでも、秋には2回のプログラムが実施できて、子どもたちの笑顔を見ていると、今だからこそ続けていかなくてはと強く感じました。そしてミルクキーの引っ越し。ミルクキーはドイツで生まれ、馬車を曳く仕事をするために日本にやってきました。しばらくは馬車の仕事をしていましたが、その仕事が無くなったあとに出逢いました。私もミルクキーに出逢ってから仕事を辞めたり、出産で馬の学校のプログラムを休まざるを得ない状況となりましたが、ミルクキーがいたおかげで、希望を失わずに活動を続けることができました。ミルクキーとはお互いを支えあえる、そんな気がしています。一時はミルクキーを手放すことも考えましたが、様々な方のご協力のお陰で、何とかこれからも一緒に活動ができるスタート地点までやってきました。活動の継続のため、ご支援いただければ幸いです。

(峯崎友香理)



「みんなの笑顔とチャレンジを引き出すミルクキーに、再活躍の場を！」

～クラウドファンディングへのご協力をお願い～

ミルクキーのプログラムを続けていくために、谷口牧場に引越しをしました。が、預託専門牧場のため預託料のほか削蹄料、医療費等が実費で必要となります。「ミルクキーフレンズ」の体制が整うまでの1年間の費用として100万円(手数料込み122万円)をクラウドファンディング(READYFOR)で募ることにしました。



今の子どもたちに必要な力、それは他者とかがわる力と自分と向き合う力だと考えます。スマホやゲームで遊ぶことが多く、学校以外での人とのかかわりが少ない上に、コロナ禍では直接的なかかわりが制限されています。また習い事等で忙しい子どもたちは何かと効率よくすることが求められています。そんな子どもたちが馬との時間の中で、相手を信頼し、自分の思いを伝え、協力して活動することや、やってみたいことを見つけ、それにチャレンジし、自信を持てる機会が得られるよう、今後もミルクキーと活動を続けていきたいと願っています。

クラウドファンディングは、1月末にREADYFORのHP上に公開され、アカウント登録を済ませてから、クレジットカードでのご支援となります。インターネット上でのお申込みができない方は、馬の学校までご連絡いただければ、詳細をお伝えいたします。振替用紙や銀行からの振り込みで対応可能です。皆様のお力をお借りしたく、ご支援のほど、どうかよろしくお願いいたします。

READYFORのページはこちらから→

